

中学部 第3学年 社会科 公民 学習指導案

日時 ○月○日(○)○校時
場所 中学部 3年○組教室
指導者 ○○ ○○

1 単元名 第4章 わたしたちの暮らしと経済 2節 生産と労働
3 働くことの意義と労働者の権利

2 単元の目標

- (1) 身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、国や地方公共団体の経済的な役割などに関心をもち、自分なりに調べたり考えたりする。
- (2) 社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解する。
- (3) 身近な事例や様々な情報手段を用いて、自分の意見をまとめたり、発表したりする。

<評価規準>

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・国や地方公共団体が果たしている経済的な役割などについて関心をもち、意欲的に追究しようとしている。(1)	・対立と合意、効率と公正などの見方や考えから広い視野で考察して、自分の考えを話したり発表したりしている。(3)	・経済に関する統計資料や新聞記事など様々な情報手段を活用して、自分の考えをまとめることができる。(3)	・国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解している。(2)

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学級の生徒は、男1名、女1名で、2名とも本校中学部卒業後は、高等学校への進学を希望している。現在は、高校進学に向けて学習意欲が高まってきており、授業に向かう姿勢は良好である。少人数学級のため、話し合い活動での意見交換の場数が少なく、2名とも受身的な関わりが多いのだが、与えられた課題や質問に対しては自分なりの意見をもち、答えることができている。社会科(公民的分野)に関しては、当初、時事ニュースや身近な出来事への関心が薄く、生活経験や知識の不足なども見られたが、インターネットや新聞記事を用いて話題提供したり、関連付けて説明したりすることで、少しずつ興味としての広がりや、教科書との関連に関心をもち取り組めるようになってきている。

(2) 単元について

本単元は、身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、国や地方公共団体の経済的な役割などについて関心をもち、理解することをねらいとしている単元である。また、国や地方公共団体が行っている仕事や役割について調べて、自分なりの考えをもち、教師や友達との話し合い活動の中で意見を深めたりしながら多面的、多角的な視点で考える場面を設けることができる単元である。さらには、身近で起きている国内外のニュースや話題と関連させながら授業を進めていくことで、その内容を追究したり、自分たちの生活に身近なこととして捉えたりして取り組むことができる。このことから、学習を通して今後の実生活に結び付く考え方や知識を身に付けることができる単元であると考えられる。

(3) 指導について

- 【導入】 ・最近のニュースや新聞の記事、情報を取り入れながら授業を進めることで、教科書の内容が自分たちの生活とも関連していることが分かり、関心をもてるようにする。
- 【展開】 ・自分なりに考えたり、話し合い活動を進めたりできるように、簡単な質問やテーマを設けてお互いに考えたり意見交換したりできるようにする。
- 【教師の働き掛け】 ・話し合いには教師も参加し、考えるきっかけをつくったり、違う意見を述べたりしていろいろな視点や考え方があつていくように気付かせるようにする。
- 【教材】 ・国や地方公共団体が行っている取り組み、財政や租税の内容、内訳などについて理解することができるように、関連を資料集や図表を活用して示したり、要点をまとめるためのワークシートを準備したりして整理できるようにする。

4 指導計画（総時数21時間）

指導計画	学習活動	評価の観点と評価の方法	時数
1節 暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミレーション（コンビニエンスストア経営者になって考える。） ・身近な事例や様々な学習活動を通して、経済に対する関心を高める。 ・“かしこい”消費生活の在り方や、消費者としての自立について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミレーションなどの学習活動に意欲的に取り組み、経済への関心をもとうとしていた。【関】 ・消費者の権利と自立などについて広い視野で考え、発表しようとしていた。【思】 	4
2節 労働と生産	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の生産活動の仕組みと働きに関心をもって考える。 ・企業の在り方や雇用に関する課題について、新聞記事やインターネットなどから情報収集し、自分の考えをまとめ、発表する。 ・労働者の権利を保障し、雇用と労働条件の改善が重要であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の生産活動や社会的責任について関心をもって、考えようとしていた。【関】 ・企業や雇用に関する課題について、情報を収集、選択し、自分の考えをまとめていた。【思 資】 ・現代企業の働きや仕組み、課題などについて理解していた。【知】 	4 (本時3/4)
3節 価格の働きと金融	<ul style="list-style-type: none"> ・市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。 ・需要量、供給量と価格の関係、市場競争、寡占などについて、その特徴を理解する。 ・経済活動や社会生活における金融の役割と影響について、自分の考えをまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の役割について興味をもって、話合いや意見交換をしていた。【関】 ・需要量、供給量と価格の関係について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を参考に考えようとしていた。【思】 ・銀行の役割について、資料などから読み取ったり、自分の考えをまとめたりしていた。【資】 	4
4節 国民生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会資本や公共サービスについて調べ、政府の経済的役割について理解する。 ・財政や租税の役割について調べ、課題について考える。 ・少子高齢化や環境の保全、日本経済の発展などについて、自分の考えをまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会資本や公共サービスについて調べる中で、政府の経済活動に関心をもち、理解していた。【関 知】 ・財政や租税に関する資料などを読み取って考えていた。【資】 ・国民の生活と福祉の向上を図るために、政府が果たしている役割について考えようとしていた。【思】 	9

【関】～社会的事象への関心・意欲・態度

【資】～資料活用の技能

【思】～社会的な思考・判断・表現

【知】～社会的事象についての知識・理解

5 本時の実際（本時7時間目／総時数21時間）

(1) 目標

- ・働く意義や労働者の権利などを理解し、自分は将来的にどう働きたいか考えたり、まとめたりする。

本時の評価規準				
・職種によって勤務条件が異なることが分かり、働きやすい環境や改善案について考えたり、意見交換したりしている。				
		A（十分に評価できる）	B（概ね満足できる）	C（努力を要する）
本時の評価基準	【思】	勤務条件の違いを比較して自分に合う働き方を考えたり、より働きやすくなるための改善案を生徒間で意見交換している。	勤務条件の違いを比較して自分に合う働き方を考えたり、より働きやすくなるための改善案を教師も交えて意見交換している。	教師主導の説明や話を基に、勤務条件を比較したり、改善案を話し合ったりしている。

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教 師 の 主 な 支 援	準 備 物
5分	1 今日のニュースを知り、意見や感想を考える。	・時事ニュースを聞くことで、身近で起きている出来事やニュースに興味・関心をもち、自分なりの考えや感想をもつことができるようにする。	ニュース記事
10分	2 働く意義について考える。 ・なぜ働くのか、どんな仕事をしたいかを考え、話し合う。	・将来の夢、就きたい職業などを聞いたり、親など身の回りで働いている人の姿を取り上げ、働く理由を考えながら話し合えるようにする。 ・教科書の本文を読むことで、働くことの意義を確認できるようにする。	教科書
25分	3 将来の労働生活を考える。 ・求人広告の読み取り、整理をする。 ・職種や労働条件の違いを比較して話し合い、自分の考えや付け加えてほしい条件などを意見交換する。	・求人広告の読み取りでは、ワークシートの記入項目を統一することで、必要な情報を読み取って整理したり、職種での違いなどに気付いたりできるようにする。【思】 ・『もしも自分がこの職場、労働条件で働くとしたら』をテーマに話し合い活動を進め、自分にとって働きやすい環境かどうか、付け加えてほしい条件などを考え、意見を出し合えるようにする。【思】 ・話し合い活動に入る際に机の向きを変え、お互いを意識し、顔を見合いながら話し合えるようにする。また、話し合いを進行する生徒を決め、生徒同士で話し合い活動ができる状況をつくる。 ・状況に応じて教師も話し合いに参加し、労働者としての視点から意見を述べることで、生徒が自分自身に置き換えて考えられるようにする。	ワークシート 求人広告
5分	4 労働者の権利について確認する。 ・労働三法について確認する。	・教科書や資料を読み進めながら、「労働組合」や「労働三法」について説明し、労働者に認められている権利を確認できるようにする。	教科書 資料プリント
5分	5 学習のまとめをする。	・社会人として働く生活を送るには、何が大事なのか質問し、個々の理解度を把握するとともに、労働生活のバランスを考えて生活していくことが大切なことを確認できるようにする。	

(3) 配置図

<中3-3教室>

